

ピンチです！角膜に穴が開きそうです

時には「点眼をお休み」してみましょう

鳥取大学農学部附属動物医療センター獣医神経病腫瘍学分野

准教授 伊藤典彦

と書き出しますと「えっ！」と思われる方がいらっしゃるかもしれません。実際にご紹介いただく症例でよく経験することがあります。感染性角膜潰瘍では一晩で穿孔に至る場合もあります。必然、全力で点眼療法を開始します。

- ① 感染を制圧するために、まずは抗菌点眼剤を。
- ② 角膜に穴が開かないように、抗コラゲナーゼ作用を有する点眼剤を。
- ③ 痛みを和らげるために、非ステロイド性抗炎症点眼剤を。

この3剤が、よくある処方型の型かと思います。この治療に対して期待する反応が見られないと、少し慌ててしまうわけです。そこで、それぞれの点眼剤の用法を越えて点眼回数を増やしてみます。それでも良くなりません。そこで、当院当科にご紹介をいただくことになります。さて、その前に次のポイントをチェックしてみましょう。いずれも治療に反応が見られない要因となります。

- ① そこにいる病原菌に選択した抗菌薬は効果がありますか？そもそも感染ありますか？
- ② 増悪因子が背後に潜んでいませんか？
- ③ 点眼剤の数や点眼回数が多すぎませんか？

点眼剤には開発の過程で最適な用法と用量が設定されます。多くても少なくとも本来の力を発揮できなくなります。回数に制限があるのは、多くの点眼剤には角膜に毒性がある保存剤が入っているからです。

ではここで、典型的な症例をシミュレーションしてみましょう。良き理解のために実際の症例を基に創ってみました

<現病歴>

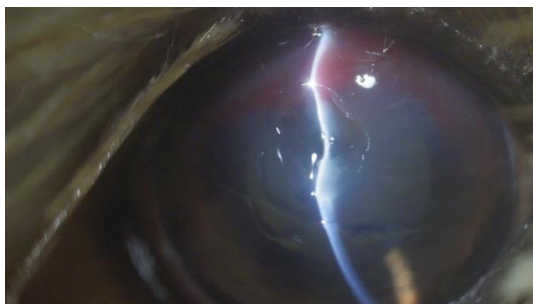
ある朝、右眼を開けない、黄色い眼脂が眼を覆っていることに飼い主が気づきました。翌日、近医受診。右眼、縮瞳、羞明、黄白色眼脂、加えて角膜中央部やや上方にフルオレセ

イン染色陽性領域とその部位を囲む様に角膜混濁と全周からの新生血管。右眼、角膜潰瘍、ぶどう膜炎の診断。右眼、ガチフロ、ヒアレインミニ 0.3%、アトロピンの点眼。抗菌薬と NSAIDs の内服。その後、右眼、混濁と充血は改善したが潰瘍部は拡大。ガチフロとヒアレインミニ 0.3%をそれぞれ 5 回/日に増強、パピテイン 5 回/日の追加処方。約 1 週間後、羞明と白色眼脂は継続、潰瘍部はさらに深く、広くなっていった。そこで、右眼の精査加療のため当院当科紹介受診となりました。

当科での初診時、右眼には以下の所見が見られました。強い眼瞼腫張と発赤。異所性睫毛が上下合わせて 8 箇所以上。半数以上のマイボーム腺開口部は閉塞。多量の白色眼脂と流涙。強い結膜充血と強膜充血。角膜の中央部に広く深い潰瘍が見られ、その中央部ではデスメ膜が露出。これらの所見から、近医と同じ右眼の角膜潰瘍に加えて両眼の異所性睫毛とマイボーム腺機能不全と診断しました。

角膜穿孔カウントダウンです。次の一手を間違えると穴が開いてしまいます。そこで、以下の加療計画を立てました。何らかの原因で感染性角膜炎を発症したが、幸いにも近医の治療が奏功し感染は制圧下にある。異所性睫毛とマイボーム腺機能不全が背景にあり、治癒を阻害している。3 種類の点眼薬をそれぞれ 1 日 5 回、合計 15 回の点眼も同様に治癒を阻害している可能性がある。異所性睫毛の抜去、マイボーム腺の圧搾・マッサージで背景因子を取り除く。点眼療法を最低限とし自身による炎症の制御、組織の修復の能力と方向を見定める。抗菌薬での感染の制圧・予防、ヒアルロン酸点眼液での角膜上皮障害の治療は最低限で維持する。

加療計画に従い、異所性睫毛を全て抜去、マイボーム腺を圧搾しました。パピテインは中断し、ガチフロは 5 回から 2 回へ、ヒアレインミニは 5 回から 3 回へと減量しました。さあ「点眼をお休み」してみます。当院での治療開始前後の症状を比較してみましょう。



初診時



8日後

右眼の眼脂・流涙・羞明は著名改善しました。角膜の潰瘍部は小さく、浅くなりました。デスメ膜が露出していた部分の角膜厚は 2/3 までに再生していました。さて、何が奏功したのでしょうか。3つのチェックポイントを確認しましょう。幸いにもご紹介元での初期治

療は素晴らしく、感染は完全に制圧されていました。背景因子に異所性睫毛とマイボーム腺機能不全がありましたので除去しました。加えて、一日あたり 15 回の点眼で角膜にかかっていた負荷を軽減するために「点眼をお休み」しました。

何も特別な治療ではありません。背景因子を除去し「点眼をお休み」しただけです。ここまでご覧いただきますと、角膜潰瘍は全て治せるようになってしまいますね。連携病院の先生のさらなるスキルアップにお役に立てますと幸いです。あっ、治せるようになりましたので、紹介する症例はなくなってしまうかもしれませんね。まずいです、「眼科がお休み」になってしまいます。